

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
多施設共同研究の質の向上のための研究体制確立に関する研究	松野 吉宏	病院病理部	1,000,000	補委 厚生労働省がん研究助成金
中皮腫における遺伝子異常検索:細胞診断応用の可能性	丸川 活司	病院病理部	590,000	補委 科学研究費(奨励研究)
科学研究費補助金 特定領域研究「皮膚癌の浸潤、転移能における表皮接着分子の直接的関与についての解析」	清水 宏 (研究代表者)	皮膚科	6,800,000	補委 文部科学省
科学研究費補助金 特定領域研究「17型コラーゲン ectodomain sheddingの生理的機能の解明」	清水 宏 (研究代表者)	皮膚科	3,400,000	補委 文部科学省
保健医療分野における基礎研究推進事業研究プロジェクト「自己免疫性疾患に対する新しい生物製剤の開発」	清水 宏 (研究代表者)	皮膚科	90,000,000	補委 独立行政法人 医薬基盤研究所
厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)「稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究」	清水 宏 (研究分担者)	皮膚科	2,000,000	補委 厚生労働省
研究事業名:橋渡し研究支援拠点形成プログラム 研究題目:オール北海道先進医学・医療拠点形成「R&Dプロジェクトのテーマ:ヒトリコンビナントVII型コラーゲン投与による表皮水疱症患者の治療」	清水 宏 (研究代表者)	皮膚科	3,400,000	補委 文部科学省
科学研究費補助金 基盤研究(B)「魚鱗癬に対する新規治療法ならびに胎児療法の開発」	秋山真志 (研究代表者)	皮膚科	6,100,000	補委 日本学術振興会
科学研究費補助金 基盤研究(C)「自己抗原ヒト化マウスを用いた後天性表皮水疱症モデルの作成と新規治療法開発への応用」	芝木晃彦 (研究代表者)	皮膚科	1,500,000	補委 日本学術振興会
科学研究費補助金 基盤研究(C)「骨髄由来表皮細胞を用いた再生医療」	阿部理一郎 (研究代表者)	皮膚科	2,800,000	補委 日本学術振興会

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
科学研究費補助金 若手研究(B)「表皮水疱症に対する遺伝子治療効果の検証:疾患モデルマウスのトランスジェニック救済」	伊藤 圭 (研究代表者)	皮膚科	2,000,000	補委 日本学術振興会
科学研究費補助金 若手研究(スタートアップ)「骨髄移植による表皮水疱症治療:特異的ケモカインを用いた検討」	猪熊大輔(研究代表者)	皮膚科	1,350,000	補委 日本学術振興会
科学研究費補助金 若手研究(A)「17型コラーゲンの分子イメージングによる水疱性類天疱瘡の病態メカニズムの解明」	西江 渉(研究代表者)	皮膚科	9,600,000	補委 日本学術振興会
科学研究費補助金 萌芽研究「mRNA trans-splicingを応用した表皮水疱症モデルマウスの治療」	西江 渉(研究代表者)	皮膚科	3,200,000	補委 日本学術振興会
科学研究費補助金 基盤研究(C)「体細胞超変異関連因子の解析による皮膚B細胞リンパ腫の早期診断法の確立」	小玉和郎(研究代表者)	皮膚科	700,000	補委 日本学術振興会
科学研究費補助金 基盤研究(C)「Gene silencingによる水疱型先天性魚鱗癬紅皮症の新規治療戦略」	阿部由紀子(研究代表者)	皮膚科	800,000	補委 日本学術振興会
プロテオーム解析による頭頸部癌診断・治療の新しい展開	福田 諭(代表)	耳鼻咽喉科	4,550,000	補委 科学研究費 基盤研究(B)
進行頭頸部癌に対する漢方治療の有用性評価	福田 諭(分担)	耳鼻咽喉科	8,000,000	補委 厚生労働科学研究費
急性高度難聴に関する調査研究	福田 諭(分担)	耳鼻咽喉科	13,000,000	補委 厚生労働科学研究費
ヘルパーT細胞を中心とした革新的免疫治療法の開発	福田 諭(分担)	耳鼻咽喉科	41,818,000	補委 NEDO

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
突発性難聴およびベル麻痺における新規病因の検索	古田 康(代表)	耳鼻咽喉科	130,000	補 委 科学研究費 基盤研究(C)
頭頸部癌抗癌剤耐性における網羅的マイクロRNAプロファイリング	折館伸彦(代表)	耳鼻咽喉科	2,340,000	補 委 科学研究費 基盤研究(C)
ゲノム・プロテオーム解析を用いた頭頸部癌EGFR過剰発現関連分子の同定	本間明宏(代表)	耳鼻咽喉科	3,380,000	補 委 科学研究費 基盤研究(C)
放射線照射を生き延びた癌細胞に秘められた謎:癌根絶への多角的アプローチ	本間明宏(分担)	耳鼻咽喉科	9,200,000	補 委 科学研究費 基盤研究(B)
がん治療による口腔内合併症の予防法及び治療法の確立に関する研究	本間明宏(分担)	耳鼻咽喉科	11,820,000	補 委 厚労省がん研究助成金
ヒストン脱アセチル化酵素活性化剤を用いたアレルギー性鼻炎根治のための基礎的研究	中丸裕爾(代表)	耳鼻咽喉科	1,820,000	補 委 科学研究費 基盤研究(C)
平衡機能における非共同性眼球運動の役割とその神経機構の解明	武市紀人(代表)	耳鼻咽喉科	3,120,000	補 委 科学研究費 基盤研究(C)
骨固定型補聴器CB0601の伝音障害患者及び片側聾患者に対する有効性と安全性の臨床試験	福田 諭	耳鼻咽喉科	1,246,000	補 委 <治験>(株)日本コクレア
献血グロベニン-I-ニチャク使用成績調査(貯法変更「室温保存品(30℃以下、禁・凍結)」に伴う使用成績調査)	折館伸彦	耳鼻咽喉科	115,000	補 委 <治験>日本製薬(株)
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の検討 ー多施設無作為比較臨床試験ー	本間明宏	耳鼻咽喉科	147,000	補 委 <受託研究>先端医療振興財団 臨床研究情報センター

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
核医学手法による実験動物でのプラークの性状評価と治療効果判定	玉木 長良	核医学分野	8,060千円	補 委	文部科学省
PETを用いた喫煙者の冠動脈内皮機能障害と治療効果に関する研究	玉木 長良	核医学分野	2,000千円	補 委	喫煙科学研究財団
分子レベルの機能診断と標的治療の実現	玉木 長良	核医学分野	21,000千円	補 委	共同研究費
新規化合物の11C標識体合成検討およびPET試験による薬効検討	玉木 長良	核医学分野	3,360千円	補 委	受託研究費
頭部外傷における神経脱落とリハビリテーション効果の予測について	志賀 哲	核医学分野	1,300千円	補 委	文部科学省
分子イメージングによるがん病態の動的解析:臨床分子イメージングの実現へ向けて	久下 裕司	核医学分野	7,410千円	補 委	文部科学省
脳機能再生機構の解析と分子イメージング～臨床画像診断の実現を目指して～	久下 裕司	核医学分野	1,300千円	補 委	文部科学省
分子イメージング技術の創薬への応用	久下 裕司	核医学分野	10,395千円	補 委	共同研究費
PETを用いた冠血管内皮機能評価方法の確立に関する研究	吉永恵一郎	核医学分野	1,700千円	補 委	文部科学省
骨髄間質細胞による神経再生の臨床応用を目的としたトランスレーショナル研究	岩崎 喜信	神経外科	7,150千円	補	文部科学省

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
自己骨髄間質細胞による神経再生メカニズムの包括的治療戦略	黒田 敏	神経外科	6,240千円	補	文部科学省
バイオイメージングを用いた骨髄間質細胞による神経再生の研究	飛驒 一利	神経外科	1,560千円	補	文部科学省
ヒト骨髄間質細胞を用いた中枢神経再生、臨床応用に向けた新たなテクノロジーの研究	七戸 秀夫	神経外科	6,480千円	補	文部科学省
脳微小血管内皮細胞の内在的脆弱性に関わる酸化ストレス亢進メカニズムの解明	鏡谷 武雄	神経外科	3,700千円	補	文部科学省
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biomed. Mater. Eng. 19(2):133-140, 2009	fabrification of porous chitosan/hydroxyapatite nanocompsites: their mechanical and biological properties	柏崎 晴彦	高齢者歯科
Journal of Prosthodontic Research	In flueu of motion and posture of the head on data obtained using the newly developed ultraminiature cordless braxism measurement system	三上 紗季	高次口腔医療センター
顎口腔機能学会雑誌	超小型コードレス筋電図計測システムの夜間睡眠時咬筋筋肝集う測定への応用	三上 紗季	高次口腔医療センター
The International Journal of Dental Technology	リアルな感触を追求した耳介エビテーゼの制作ーポリウレタン樹脂を用いた生体に近い感触と動きの再現ー	西川 圭吾	生体技工部
日本口腔顎顔面技工研究会会誌	より生体に近い感触を持つ耳介エビテーゼの試作	西川 圭吾	生体技工部
Stomatologija	Papilla preservation technipue combined with Emdogain in the tratment of treatment of intrabony defects:a novel treatment regimen for chronic periodontitis	Miliauskaite A, Selimovic D, Hassan M, Nagano F, Soell M, sano	第1保存科
Dent Mater	effects of self-etching resin coating system to prevent demineralization of root surfaces	kaneshiro AV, Imazato S, Ebisu S, Tanaka Y, sano H	第1保存科
Biomed Mater Eng	Improved bond perfomance of a dental adhesive system using nano-technology	Nagano F, Selimovic D, Noda M, Ikeda T, Tanaka T, Miyamoto	第1保存科
Biol. Blood Marrow Transplant.	Excellent outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation using a conditioning regimen with medium-dose VP-16, cyclophosphamide and total body irradiation for adult patients with acute lymphoblastoc leukemia.	Shigematsu A, et al.	血液内科
Biol. Blood Marrow Transplant.	A retrospective analysis of allogeneic hematopoietic stem cell transp lantation for adlut T cell leukemia/lymphoma (ATL): clinical impact of graft-versus-leukemia/lymphoma effect.	Shiratori S, et al.	血液内科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Leuk. Lymphoma	T cell excision circle levels in CD94-expressing CD8 T cells during graft-versus-host disease.	Sugita J, et al	血液内科
Ann. Hematol.	Influence of conditioning regimens and stem cell sources on donor-type chimerism early after stem cell transplantation.	Sugita J, et al.	血液内科
Int. J. Hematol.	Reduced-intensity unrelated donor bone marrow transplantation for hematologic malignancies.	Kim SW, et al.	血液内科
J Cell Biochem	Adipose triglyceride lipase regulates basal lipolysis and lipid droplet size in adipocytes	三好秀明	第二内科
Bone Marrow Transplant	Discrepancy between disease activity and levels of vascular endothelial growth factor in a patient with POEMS syndrome successfully treated with autologous stem-cell transplantation	後藤秀樹	第二内科
Semin Thromb Hemost.	Antiprothrombin antibody testing: detection and clinical utility	奥健志	第二内科
Rheumatology	Clinical features of haemophagocytic syndrome in patients with systemic autoimmune diseases: analysis of 30 cases.	深谷進司	第二内科
Int J Cardiol	Reversible cardiomyopathy due to secondary hemochromatosis with multitransfusions for severe aplastic anemia after successful non-myeloablative stem cell transplantation.	西尾充史	第二内科
Hum Mol Genet	Cyst formation and activation of the extracellular regulated kinase pathway after kidney specific inactivation of Pkd1.	柴崎跡也	第二内科
Biochim Biophys Acta	Involvement of Ymer in suppression of NF-kappaB activation by regulated interaction with lysine-63-linked polyubiquitin chain.	坊垣幸	第二内科

- (注)
- 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
 - 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arthritis Rheum	Exchange of information in Rheumatology between East and West : From Man'yo-shu to the Future	渥美達也	第二内科
Clin Exp Rheumatol	Thrombotic microangiopathy in patients with phosphatidylserine dependent antiprothrombin antibodies and antiphospholipid syndrome	近祐次郎	第二内科
J Atheroscler Thromb	The potential role of macrophage migration inhibitory factor on the migration of vascular smooth muscle cells	岡本敏哉	第二内科
Autoimmun Rev	Autoimmune disease after autologous hematopoietic stem cell transplantation	坊垣暁之	第二内科
Mod Rheumatol	Polymyalgia rheumatica as the manifestation of unclassified aortitis.	片岡浩	第二内科
J Neurol	Downbeat positioning nystagmus is a common clinical feature despite variable phenotypes in an FHM1 family	Yabe I	神経内科
Mult Scler	Correlation between DJ-1 levels in the cerebrospinal fluid and the progression of disabilities in multiple sclerosis patients	Hirofumi M	神経内科
Mov Disord	Association between multiple system atrophy and polymorphisms of <i>SLC1A4</i> , <i>SQSTM1</i> , and <i>EIF4EBP1</i> genes	Soma H	神経内科
Neurol Asia	Painful symptoms and quality of life in multiple sclerosis	Niino M	神経内科
Neurosci Lett	Cystatin C in cerebrospinal fluid as a biomarker of ALS	Tsuji-Akimoto S	神経内科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intern Med	Chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy after treatment with interferon- α	Hirofumi M	神経内科
臨床神経学	甲状腺機能正常な“橋本病”にともなう進行性小脳性運動失調症の臨床的検討～小脳性運動失調における橋本病の自己抗体の関わりについて～	矢部 一郎	神経内科
	Intraoperative simulation device using negative pressure for construction of framework in microtia reconstruction	小山 明彦	形成外科
	Double innervation occurs in the facial mimetic muscles after facial-hypoglossal end-to-side neural repair: rat model for neural supercharge concept	古川 洋志	形成外科
	Sebaceous carcinoma of the eyelids: a review of 21 cases	齋藤 亮	形成外科
	Simvastatin inhibits growth via apoptosis and the induction of cell cycle arrest in human melanoma cells	齋藤 亮	形成外科
BJU Int	Pathological characteristics and clinical course of bladder tumour developing after nephroureterectomy.	安部 崇重	北海道大学 腎泌尿器外科
J Urol	Long-Term Outcome of Vaginoplasty With the Bilateral Labioscrotal Flap	守屋 仁彦	北海道大学 腎泌尿器外科
J Urol	Abnormal Dimercapto-Succinic Acid Scan is a Predictive Factor of Breakthrough Urinary Tract Infection in Children With Primary Vesicoureteral Reflux.	中村 美智子	北海道大学 腎泌尿器外科
Jpn J Clin Onco	Multicenter Phase II Trial of Combination Therapy with Meloxicam, a COX-2 Inhibitor, and Natural Interferon- α for Metastatic Renal Cell Carcinoma.	篠原 信雄	北海道大学 腎泌尿器外科

- (注)
- 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
 - 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Transpl Immuno	High renal ischemia temperature increases neutrophil chemoattractant production and tissue injury during reperfusion without an identifiable role for CD4 T cells in the injury.	福澤 信之	北海道大学 腎泌尿器外科
Clin Transplant	Clinicopathologic evaluation of short-term outcome after early corticosteroid discontinuation in kidney transplantation.	三浦 正義	北海道大学 腎泌尿器外科
Int J Urol	Alternative approach in the treatment of adrenal metastasis with a real-time tracking radiotherapy in patients with hormone refractory prostate cancer.	佐澤 陽	北海道大学 腎泌尿器外科
Eur J Pediatr Surg	Laparoscopy-assisted Surgery for Lobulated Abdominoscrotal Hydrocele: a Case Report.	松本 隆児	北海道大学 腎泌尿器外科 (現 帯広厚生病院)
Int J Urol	Lower urinary tract symptoms and their impact on quality of life after successful renal transplantation.	三井 貴彦	北海道大学 腎泌尿器外科
Int J Urol	Role of lymph node density in predicting survival of patients with lymph node metastases after radical cystectomy: a multi-institutional study.	大澤 崇宏	北海道大学 腎泌尿器外科
Int J Radiat Oncol Biol Phys 70, 931-934, 2008	Three-dimensional intrafractional motion of breast during tangential breast irradiation monitored with high-sampling frequency using a real-time tumor-tracking radiotherapy system.	Kinoshita R, et al	大学病院、医員
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Clinical Outcomes of Stereotactic Body Radiotherapy for Small Lung Lesions Clinically Diagnosed as Primary Lung Cancer on Radiologic Examination	Inoue T, et al	大学病院、医員
Jpn J Clin Oncol	Low-dose craniospinal irradiation and Ifosfamide, cisplatin and etoposide for non-metastatic embryonal tumors in the central nervous system.	Yasuda K, et al	大学病院、医員

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Pediatr Surg	Usefulness of axial planes of helical computed tomography for diagnosis of pancreaticobiliary maljunction in early infants with negative findings on magnetic resonance cholangiopancreatography.	岡田忠雄	小児外科
Pediatr Int	Management and Outcome in Prenatally Diagnosed Sacrococcygeal Teratomas.	岡田忠雄	小児外科
Turkish J Pediatr	CD56-immunostaining of the extrahepatic biliary tree as an indicator of clinical outcome in biliary atresia: a preliminary report.	岡田忠雄	小児外科
北海道歯学誌	胚性腫細胞株P19EC細胞の静脈麻酔薬による細胞死に関する研究	今渡 隆成	歯科麻酔科
日本歯科麻酔誌	Freeman-Sheldon症候群を有する患者の口蓋形成術に対する全身麻酔管理経験	渋谷真希子	歯科麻酔科
日本歯科麻酔誌	頸部郭清中に迷走神経が切断されたペースメーカー植込み患者の1例	木村 邦衛	歯科麻酔科
日本歯科麻酔誌	絶飲食時の低血糖対策を要したインスリン持続皮下注入療法施行1型糖尿病患者の全身麻酔経験	本間 将一	歯科麻酔科
歯科材料・器械	4-META/MMA-TBBレジンと骨との接着の長期安定性	中塚 愛	第二保存科
日歯保存誌	根尖切除術における切除面の封鎖法の違いが実験的根尖性歯周炎の長期的治癒に及ぼす影響	大谷 香織	第二保存科
日歯保存誌	コラーゲンハイドロゲル-スポンジ複合体のスキュルホールドとしての有効性とBMP併用による骨増生	得永 佳介	第二保存科

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日歯保存誌	半月状歯肉弁歯冠側移動術後治癒の組織学的評価	半田 良平	第二保存科
J Periodontol	Bone perforation and placement of collagen sponge facilitate bone augmentation	下地 伸司	第二保存科
Prenat Diag 2008; 28:1072-4	Ileal atresia after fetoscopic laser photocoagulation for twin-to-twin transfusion syndrome—a case report	Morikawa M	北海道大学病院産科
J Reprod Immunol 2009; 179: 188-95	Antiphospholipid antibodies increase the risk of pregnancy-induced hypertension and adverse pregnancy outcomes	Yamada H	北海道大学病院産科
Mol Hum Reprod 2009; 15: 121-30	Proinflammatory cytokine polymorphisms and the risk of preterm birth and low birth weight in a Japanese population	Yamada H	北海道大学病院産科
J Perinat Med 2008; 36: 419-24	Pregnancy outcome of women who developed proteinuria in the absence of hypertension after mid-gestation	Morikawa M	北海道大学病院産科
J Obstet Gynaecol Res 2008; 34: 121-4	Complete hydatidiform mole with coexisting dichorionic diamniotic twins following testicular sperm extraction and intracytoplasmic sperm injection	Yamada T	北海道大学病院産科
Prenat Diag 2009; 29: 715-7	Platyspondylic lethal skeletal dysplasia San Diego type (thanatophoric dysplasia type 1) associated with trisomy 21 presenting with nuchal translucency: a case report	Yamada T	北海道大学病院産科
Pediatr Int 2008; 50: 576-80	Management and outcome in prenatally diagnosed sacrococcygeal teratomas	Okada T	北海道大学病院産科
医療薬学(2008) 第34巻第5号 419-425 頁	処方オーダーリングシステムおよびTDMオーダーリングシステムと連動した抗MRSA薬使用届け出システムは適正使用を推進する	山田武宏	薬剤部

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
医療薬学(2009) 第35巻第3号 213-218頁	多発性骨髄腫における同種造血幹細胞移植後の慢性消化管GVHDに対しベクロメタゾン腸溶性製剤を投与した症例	久保田康生	薬剤部
眼科	【日常臨床での点眼薬の特徴とコツ】非ステロイド性消炎薬	田川義継	眼科
神経眼科	臨床と研究の接点 3次元空間での追跡眼球運動における小脳背側虫部の関わり	新田卓也	眼科
臨床眼科	炎症性眼疾患の診療 HLA-B27関連ぶどう膜炎	南場研一	眼科
あたらしい眼科	【ぶどう膜炎検査の正しい使い方】髄液検査	北市伸義	眼科
あたらしい眼科	【ぶどう膜炎検査の正しい使い方】ヒト白血球抗原(HLA)	南場研一	眼科
臨床眼科	炎症性眼疾患の診療 Vogt-小柳-原田病	北市伸義	眼科
臨床眼科	【網膜硝子体診療update】注目の疾患 その他 Acute zonal occult outer retinopathyの診断と病態	齋藤航	眼科
眼科プラクティス	【眼科薬物治療A to Z】疾患別治療戦略と処方の実際 ぶどう膜炎 小柳-原田病・交感性眼炎	北市伸義	眼科
眼科プラクティス	【眼科薬物治療A to Z】疾患別治療戦略と処方の実際 結膜・角膜疾患 クラミジア結膜炎	田川義継	眼科

(注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

社

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
眼科プラクティス	【眼科薬物治療A to Z】疾患別治療戦略と処方の実際 結膜・角膜疾患 新生児眼炎	田川義継	眼科
臨床眼科	炎症性眼疾患の診療 多発消失性白点症候群	齋藤理幸	眼科
日本の眼科	Vogt-小柳-原田病とスギウラ・サイン	北市伸義	眼科
臨床眼科	白内障手術後に生じた術後壊死性強膜炎の2例	宮本陽子	眼科
臨床眼科	ヘルペス虹彩毛様体炎	北市伸義	眼科
臨床眼科	炎症性眼疾患の診療 HTLV-1関連ぶどう膜炎	北市伸義	眼科
臨床眼科	炎症性眼疾患の診療 バルトネラ感染症(ネコひっかき病)	有賀俊英	眼科
アレルギーの臨床	【効果的なヒスタミンH1拮抗薬の使い方】眼科領域	北市伸義	眼科
臨床眼科	炎症性眼疾患の診療 交感性眼炎	北市伸義	眼科
臨床眼科	炎症性眼疾患の診療 サルコイドーシス	北市伸義	眼科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Exp Eye Res	Macrophage migration inhibitory factor ameliorates UV-induced photokeratitis in mice.	Kitaichi Nobuyoshi	眼科
Acta Ophthalmol	Intravitreal anti-vascular endothelial growth factor therapy with bevacizumab for tuberous sclerosis with macular oedema.	Saito Wataru	眼科
Arch Ophthalmol	Block suture for trabeculectomy using only 2 anchors.	Chin Shinkii	眼科
Acta Ophthalmol	Elevated choroidal blood flow velocity during systemic corticosteroid therapy in Vogt-Koyanagi-Harada disease.	Hirose Shigeki	眼科
Br J Ophthalmol	Sister cases of Behcet's disease and Vogt-Koyanagi-Harada disease	Horie Yukihiro	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol	Transgenic mice generating group, Ono E. Microphthalmia and lack of vitreous body in transgenic mice expressing the first immunoglobulin-like domain of nectin-1	Yoshida Kazuhiko	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol	Anti-inflammatory effect of angiotensin type 1 receptor antagonist on endotoxin-induced uveitis in rats	Miyazaki Akiko	眼科
American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics	Growth and development of the cranial base in mice that spontaneously develop anterior transverse crossbite	梶井 貴史	矯正科
Hokkaido Journal of Dental Science	Relationship between lip sealing ability and dentofacial morphology	佐藤 嘉晃	矯正科
日本口蓋裂学会雑誌	地理的観点から分析した北海道大学病院矯正歯科における口唇裂・口蓋裂患者の統計学的特徴	梶井 貴史	矯正科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本口蓋裂学会雑誌	北海道大学病院矯正歯科における口唇裂・口蓋裂患者の臨床統計的調査—1997年から2006年の10年間—	梶井 貴史	矯正科
北海道歯学雑誌	口輪筋訓練の条件に関する検討—近赤外線分光法を用いた口輪筋酸素化動態の観察—	金子 知生	矯正科
北海道矯正歯科学会誌	アルジネート印象材用消毒液の寸法精度への影響	山本 隆昭	矯正科
北海道矯正歯科学会誌	歯周病を伴う上顎前突症—装置撤去後8年経過例—	佐藤 嘉晃	矯正科
ORTHODONTIC WAVES	Differences in dento-facial morphology in lip competence and lip incompetence	佐藤 嘉晃	矯正科
MOLECULAR MEDICINE REPORTS	Mechanical stress up-regulates RANKL expression via the VEGF autocrine pathway in osteoblastic MC3T3-EL cells	飯田 順一郎	矯正科
J Rehabil Med.	Inhibition of the unaffected motor cortex by 1 Hz repetitive transcranial magnetic stimulation enhances motor performance and training effect of the paretic hand in patients with chronic stroke.	竹内直行	リハビリテーション科
Chang Gung Med J. 2009 Mar-Apr;32(2):133-9	Revascularization in the tendon graft following anterior cruciate ligament reconstruction of the knee: its mechanisms and regulation.	遠山晴一	リハビリテーション部
Gene Ther. 2008 Dec;15(23):1513-22.	A novel DNA vaccine-targeting macrophage migration inhibitory factor improves the survival of mice with sepsis.	遠山晴一	リハビリテーション部
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌	嚥下音画像化の試み—嚥下障害患者への臨床応用の可能性—	浦上祐司	リハビリテーション科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Respiratory Research	Bronchiolar chemokine expression is different after single versus repeated cigarette smoke exposure	Betsuyaku Tomoko	第一内科
Endocrinology	Knockdown of macrophage migration inhibitory factor disrupts adipogenesis in 3T3-L1 cells	Ikeda Daisuke	第一内科
Cancer Immunity	Prolonged survival of patients with lung adenocarcinoma expressing XAGE-1b and HLA class I antigens	Kikuchi Eiki	第一内科
Respirology	Pharmacokinetics of clarithromycin in bronchial epithelial lining fluid	Kikuchi Eiki	第一内科
British Journal of Cancer	Simultaneous blockade of AP-1 and phosphatidylinositol 3-kinase pathway in non-small cell lung cancer cells	Kikuchi Junko	第一内科
Antioxidants & Redox Signaling	Dual oxidase 1 and 2 expression in airway epithelium of smokers and patients with mild/moderate chronic obstructive pulmonary disease	Nagai Katsura	第一内科
Free Radical Research	Diversity of protein carbonylation in allergic airway inflammation	Nagai Katsura	第一内科
European Journal of Nuclear Medicine and Molecular Imaging	Myocardial imaging with 18F-fluoro-2-deoxyglucose positron emission tomography and magnetic resonance imaging in sarcoidosis	Ohira Hiroshi	第一内科
Journal of Immunotherapy	Surmounting tumor-induced immune suppression by frequent vaccination or immunization in the absence of B cells	Oizumi Satoshi	第一内科
Current Therapeutic Research	Effects of replacing metformin with pioglitazone on glycemic control in Japanese patients with poorly controlled type 2 diabetes mellitus : A 12-week, Open-label, prospective study	Sakaue Shinji	第一内科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Immunology, Immunotherapy	Immunotherapy with dendritic cells pulsed with tumor-derived gp96 against murine lung cancer is effective through immune response of CD8(+) cytotoxic T lymphocytes and natural killer cells	Shinagawa Naofumi	第一内科
Inhalation Toxicology	Decreased airway expression of vascular endothelial growth factor in cigarette smoke-induced emphysema in mice and COPD patients	Suzuki Masaru	第一内科
American Journal of Respiratory Cell and Molecular Biology	Down-Regulated NF-E2-Related factor 2 in pulmonary macrophages of aged smokers and patients with chronic obstructive pulmonary disease	Suzuki Masaru	第一内科
Mol Psychiatry	Aberrant DNA methylation associated with bipolar disorder identified from discordant monozygotic twins	Kuratomi G	精神医学講座
Eur. J. Pharmacol	Effect of co-administration of the selective 5-HT1A receptor antagonist WAY 100,635 and selective 5-HT1B/1D receptor antagonist GR 127,935 on anxiolytic effect of citalopram in conditioned fear stress in the rat.	Muraki I	精神医学講座
Eur. J. Pharmacol	Effect of co-administration of a serotonin-noradrenaline reuptake inhibitor and a dopamine agonist on extracellular monoamine concentrations in rats.	Kitaichi Y	精神医学講座
Pharmacol. Biochem. Behav.	Changes in amygdala neural activity that occur with the extinction of context-dependent conditioned fear stress.	Izumi T	薬理学講座
Neuro. Endocrinol. Lett.	Depressive patients are more impulsive and inconsistent in intertemporal choice behavior for monetary gain and loss than healthy subjects--an analysis based on Tsallis' statistics.	Takahashi T	精神医学講座
Psychiatry and Clinical Neurosciences	Effect of different challenge doses after repeated citalopram treatment on extracellular serotonin level in the medial prefrontal cortex: In vivo microdialysis study.	Muraki I	精神医学講座
Psychiatry and Clinical Neurosciences	Pharmacokinetic interaction between tandospirone and fluvoxamine in the rat contextual conditioned fear stress model and its functional consequence: Involvement of cytochrome P450 3A4.	Nishikawa H	精神医学講座

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。